

JR 東日本グループで繰り返される「不当労働行為」 「ハラスメント」の実態を明らかにする

記者会見を開催！

6月19日 厚生労働省記者クラブにて



日本輸送サービス労働組合連合会は6月19日、厚生労働省記者クラブにおいて「JR東日本グループで繰り返される不当労働行為やハラスメントの実態を明らかにする記者会見を開催しました。

会見では、JR東日本輸送サービス労働組合八王子地方本部から、3月18日に東京都労働委員会が「会社の帰責」を明確に指摘して不当労働行為を認定した「JR東日本八王子支社組合員差別事件」の概要と命令の履行状況と問題点について、ジェイアールバス関東労働組合からバス棚倉不当労働行為事件の概要と、グループ会社内における労働組合差別の実態を記者の皆さんに明らかにしてきました。

記者会見にはマスコミ5社と厚生労働省から2名の参加があり、会見内容を興味深く聞いていただくことが出来ました。

またこの日は、JR東日本会社の「定時株主総会」も開催されたこともあり、株主総会の傍聴に参加した方の中から13名が記者会見場に駆けつけていただくなど、労連・単組・地方本部が連帯した取り組みで作り上げた記者会見となりました。



「完全勝利」の都労委命令の意義を報告していただいたJR 東日本輸送サービス労働組合八王子地方本部の武田副委員長（左）と桜井組織法務部長（右）



組合差別の実態を報告し「同調圧力に屈しない労働組合の必要性」について訴えていただいたジェイアールバス関東労働組合の遠山副委員長

**JTSU は「健全な JR 東日本グループ会社」
を構築するために、これからも
取り組みを続けていきます！**

※記者会見の様子は、後日 You tube チャンネル「JTSU tube」にて公開予定！